



まちづくり塾が特別賞を受賞 三浦保環境賞

三浦保環境賞授賞式は2月13日、松山全日空ホテルで行われ、まちづくり塾(重松茂塾長)が特別賞を受賞しました。この賞は、県内で環境保護活動を行っている個人や団体に対して贈られるものです。同塾は、昔から存在していた生き物や草を集めて、失われた自然を復活させた「ビオトープ」が高く評価されました。重松塾長は「もっと多くの人に『ちょっと昔の松前の水辺』のビオトープを見てほしい」と話し、受賞を励みに意欲を高めていました。

息の合ったペアプレーで熱戦 松前町ひまわり杯(水口杯) ダブルス卓球大会

第3回松前町ひまわり杯(水口杯) ダブルス卓球大会は2月22日、松前公園で開かれ、男女240人、60チームが熱戦を繰り広げました。結果は次の通りです(敬称略)。

▶1位グループ①フェニックス(上田達弥、崎山達也、山地理沙、山内かほり)②八西会A(川上高幸、山下貴司、菊地泰宏、古田翔子)③石井クラブ(野村健次、日浅泰文、野村圭子、岩崎やよい)④北条クラブA(宇高寿幸、赤松聡、野中伊万理、上田夏菜)▶2位グループ①TMG5(幸辰夫、岡田久史、山藤由紀美、吉田真紀)②北条クラブC(正岡重宣、武智士、鷲崎加代、稲見小百合)▶3位グループ①ラビットC(今井邦篤、大塚芳夫、今井ひろ子、保田當子)②伊予愛好会(山内正卓、篠崎一也、高岡千代子、松岡光柄)▶4位グループ①松前卓愛会A(大下佳晃、城戸久美子、竹内幸子、高須賀サナエ)②松前融和クラブB(杉野耕治、岩井正志、清水繫子、大西時子)



1位グループで優勝したフェニックスの皆さん

防災の子どもリーダーが卒団 松前町少年消防クラブ卒団式

「松前町少年消防クラブ卒団式」は松前、岡田、北伊予の各小学校で行われ、50人の消防クラブ員が卒団しました。消防クラブ員は学校内の防災リーダーだけでなく、地域や家庭のリーダーとしても活躍し、防火意識の啓発に努めました。

▼3月3日 松前小学校



▼3月5日 岡田小学校



▼3月10日 北伊予小学校



故 田中義一さん(義農味噌株式会社 元代表取締役会長)が町へ寄付

義農味噌株式会社の田中正志代表取締役社長は2月18日、故田中義一さんの「創業以来62年間お世話になったお礼の気持ち」という個人の遺志を受け、町へ1千万円を寄付しました。寄付金は町の活性化に向け、大切に使っていきます。

通いなれた学舎巣立つ 卒園式・卒業式

町内の幼稚園では3月18日に、小学校では3月24日に、中学校では3月17日に、卒園式・卒業式が行われ、卒業生は思い出の詰まった学舎(まなびや)を巣立っていきました。



1_カレーパーティーに、ドミノに…。思い出を振り返る(松前幼稚園) 2_夢を語って、園舎を巣立つ(古城幼稚園) 3_在校生、保護者に見守られながら、堂々の入場(松前小) 4_卒業証書を笑顔で受け取る(岡田中) 5_卒業生がお礼の言葉と未来への決意を伝える(岡田小) 6_最後の合唱「道」。溢れる思いを歌にのせる(松前中) 7_退場。新しい一歩を踏み出す(北伊予小) 8_最後のホームルーム。生徒も先生も涙が止まらない(北伊予中)



スポーツ少年団が交流 スポーツ少年団交歓会・卒団式

町の平成26年度スポーツ少年団交歓会は2月28日、松前公園で開催され、松前、北伊予、岡田のスポーツ少年団チームが交流試合を行いました。競技はミニバスケットボールとソフトボールの2競技を実施しました。6年生にとって最後の試合となるこの交歓会。団員たちは、日ごろの練習の成果を発揮しながら、競技を通して他チームとの交流を深めていました。



< 試合結果 >

| | | | | |
|---------|----|------|-----|------|
| ソフトボール | 優勝 | 北伊予 | 準優勝 | 岡田 |
| ミニバス 6年 | 優勝 | 松前男子 | 準優勝 | 松前女子 |
| 5年 | 優勝 | 松前男子 | 準優勝 | 岡田 |



3.11を忘れない

東日本支援フェスタ 2015

松前町ボランティア連絡協議会は3月8日、福祉センターで「東日本支援フェスタ 2015」を開催しました。

このフェスタは、東日本大震災の被災地を支援しようと、震災が発生した3.11を前に毎年開催しているものです。当日はフリーマーケット、宮城県女川町の物産販売や東日本写真展をはじめ、東北の皆さんに向けてのメッセージコーナーがありました。そこには、「皆仲間です」「頑張ろう」などの言葉がつづられており、来場者は被災地への思いを再確認していました。それだけでなく、被災時のトイレの講座やAED講習もあり、自身の防災意識も高めていました。

また、会場の外やエミフル MASAKI では、町内の小中高生のボランティアが募金活動を実施。昨年度より80人ほど多い208人が参加して、募金を呼び掛けました。

今回の収益金は義援金として寄付されました。



①葉に東北への思いをのせる ②会場外で募金活動をする中学生 ③実験をしながら、被災時のトイレについて学ぶ



日本一のジャンボ大根

全国ジャンボ大根フェスティバル 2015

第11回全国ジャンボフェスティバル2015は3月9日、広島県で開催され、一般の部で岡井剛太郎さん、アイ子さん＝南黒田＝が育てた大根が第1位に輝きました。

フェスティバルには全国から308本の大根が出品。岡井さん夫婦は40.18kgの重さで胴回り130cmの大根を育て、1位の栄冠を勝ち取りました。

剛太郎さんは「水管理が大変だった。来年も出場して、1、2位を独占したい」と笑顔で話していました。



菜の花畑で笑顔も満開

黒田保育所の園児が菜の花畑へ

岡井剛太郎さん＝南黒田＝が、菜の花畑に黒田保育所の子どもたちを招待しました。

訪れた子どもたちは、満開に咲いた菜の花畑を見ると、「いっぱい咲いてる」と大喜び。黄色いじゅうたんに寝そべったり、花束を作ったり追いかけてしたりして、楽しいひとときを過ごしました。また、子どもたちは「春の訪れ」を家族にも届けるため、摘み取った花を大事そうに持ち帰っていました。



剛太郎さんと日本一となった大根